

会 議 録

会 議 名	第29期小金井市公民館運営審議会第7回審議会		
事 務 局	公民館		
開 催 日 時	平成20年4月25日(金)午後3時から午後4時25分		
開 催 場 所	小金井市公民館本館 学習室 AB		
出 席 委 員	大橋委員長 田頭副委員長 内古閑委員 君塚委員 熊谷委員長 長田委員 竹内委員 佐野委員		
欠 席 委 員	木村委員 道城委員		
事 務 局 員	中嶋館長 渡辺生涯学習部長 山崎庶務係長 松本事業係長 鈴木主査 長堀主査 葛城主査 渡辺(正)主査 渡辺(陽)社会教育主事		
傍 聴 の 可 否	可	傍聴者数	0人
傍聴不可・一部不可 の場合は、その理由			
会 議 次 第	<p>1 報告事項</p> <p>(1) 職員の人事異動について</p> <p>(2) 平成20年度東京都公民館連絡協議会定期総会の結果について</p> <p>(3) 第20期小金井市公民館企画実行委員の選出について</p> <p>(4) 各館事業の報告について</p> <p>(5) 市制施行50周年記念事業について</p> <p>(6) その他</p> <p style="padding-left: 2em;">ア 第13回東京国際スリーデーマーチについて</p> <p style="padding-left: 2em;">イ 第1回企画委員会の結果について</p> <p style="padding-left: 2em;">ウ 次回日程について</p> <p>2 審議事項</p> <p>(1) 各館事業の計画について</p> <p>(2) 公民館の基本方針づくりについて</p> <p>(3) その他</p> <p>3 配布資料</p> <p>(1) 各館事業の報告</p> <p>(2) 各館事業の計画</p> <p>(3) 第6回公民館運営審議会会議録</p>		

## 会 議 結 果

中嶋館長 第29期第六回会議録につきましては、委員のご確認を得て清打ちし、送付しております。ご承認よろしいでしょうか。  
大橋委員長 ご承認よろしいでしょうか。  
委員一同 承認します。

### 1 報告事項

#### (1) 職員の人事異動について

中嶋館長 本日公民館職員の人事異動につきましては、皆様にご配付しております。3月31日付けで生涯学習部長石川明が普通退職をして、4月1日付けで渡辺博が生涯学習部長となりました。ご挨拶をお願いいたします。

渡辺部長 4月1日付けで私渡辺が生涯学習部長として赴任いたしました。皆様のご指導をよろしく賜りたいと思っております。私の簡単な自己紹介をいたしますと、昭和48年に市役所に入所いたしました。そのときは、教育委員会の図書館に配属されまして、図書館の本館建設に初めての仕事として携わりました。建設された当時は新しい建物だったのですが、現在では老朽化しました。それから平成16年に生涯学習課長補佐として配属され、1年間教育委員会で勤め、後に3年ほどもの情報システム課に戻り、今回ということで、都合3回目の教育委員会となります。生涯学習分野は、平成20年度は大きな変革の時期にあたっています。一つは生涯学習計画が今年一杯で満了しますので、次期の生涯学習計画を新策定するという作業が予定されています。これについては、ある程度素案が出来上がった段階で公運審の委員のかたがたにもご意見をお聞きする機会を是非設けたいと思っております。それから昨日、図書館長から職員の体制の見直しについて図書館協議会に諮問をしています。現行でも市民サービスの拡大に努めてまいりましたが、更なる市民サービスの拡大について、市民のかたがたから、また議会からも強く求められて、それに対応するために諮問をいたしました。来年の7月に諮問の答申予定となっており、体制見直しに向けての本格的な作業が入って来る予定です。スポーツ振興課については、指定管理者への移行ということが既に第二次行政改革大綱の改定版の中でもうたわれており、公民館でも職員体制の見直しということが同じ第二次行政改革大綱の中でもうたわれておりますのでそれらの作業があります。種々大きな変革があります。是非公運審の皆様方にもご指導いただいてなんとか成し遂げたいと思っておりますので、よろしくお願いいたします。以上です。

公民館長 それでは生涯学習部長は、公務がございますのでこれで中座させていただきます。よろしいでしょうか。

大橋委員長 どうもありがとうございました。

公民館長 それでは、総務課から本館庶務係長として山崎知子が参りました。

山崎係長	<p>ので一言ご挨拶お願いいたします。</p> <p>総務課から参りました山崎知子と申します。公民館にはだいぶ前に庶務係で6年間勤めさせていただいたことがございますが、当時とだいぶ様子も変わっておりますので、皆様のご指導を仰ぎながら勤めさせていただきたいと思っております。どうぞよろしくお願いいたします。</p>
公民館長	<p>よろしくお願いいたします。それでは1番については以上です。</p> <p>(2) 平成20年度東京都公民館連絡協議会について</p>
大橋委員長	<p>二つ目は平成20年度東京都公民館連絡協議会定期総会の結果についてです。公民館長お願いいたします。</p>
公民館長	<p>4月16日(水)午後2時から東久留米市立中央公民館ホールにおいて、平成20年度東京都公民館連絡協議会定期総会が開催されました。代議員数94名中83名の出席と6名の委任状提出により総会は有効に成立しました。平成19年度事業報告、一般会計予算並びに決算の認定、財産調書、監査報告、平成20年度の役員は順調に承認されました。次いで羽村市が平成20年3月末日に脱退届けの提出があった旨報告されました。次に平成20年度運営方針及び事業計画、一般会計予算、特別会計予算の各案が質疑応答の後可決されました。なお第46回東京都公民館研究大会は、町田市を大会事務局市として、本年12月14日(日)に開催されます。また、この20年度においては役員として小金井市は職員部会副部長となっております。平成21年度においては、第47回東京都公民館研究大会は小金井市が事務局市となります。雑駁ですが、私の方からは以上でございます。それでは大橋委員長、長田委員ご出席ありがとうございました。何かご感想等ございましたらお願いいたします。</p>
大橋委員長	<p>私の方から特に印象に残ったことは、東京都公民館研究大会の予算は全て参加者の入場料で賄われるという点です。340人の参加者を予定しておりますので、一人千円で換算いたしますと34万円となり、補助金なしで行うということでした。前回と異なるのはCD-ROMの作成経費10万円分が削減されている点です。大会の会議録は全てインターネットでダウンロードして各自で入手する方法に変更になりました。</p>
長田委員	<p>他には特にはないのですが、話されていた内容から、どちらの市も人員削減で大変だという印象を持ちました。</p>
大橋委員長	<p>羽村市はもともと職員が6人だったのに3人になってとてもこのような大会に参加できる余裕はないということが脱退の理由のようです。</p>
公民館長	<p>7人だったのが4人か3人くらいになったとのことでした。以前に大橋委員長が社会教育委員の会議の委員と共に羽村市に視察に行った際の施設は生涯学習センターであり、公民館ではないということと共に人員がそのように見直しされたことが今回の脱退の理由のようでございます。</p>

大橋委員長 他にこの件に関しては質問等がございませんか。なければ、三番目の議題「第20期公民館企画実行委員の選出について」です。

(3) 第20期小金井市公民館企画実行委員の選出について

公民館長 第20期小金井市公民館企画実行委員の選出についてですが、小金井市公民館条例第21条に（企画実行委員の設置）として「公民館の行う各種事業の専門的な事項の調査研究並びに企画、実施にあたるため、青少年教育、成人教育、文化活動及び視聴覚ライブラリーの公民館企画実行委員を設けることができる。」とあります。また、小金井市公民館企画実行委員選出要綱により、「成人教育、文化活動部門の委員数は各館6名以内」とあり、5館で30名以内となります。この度第19期委員の任期が平成20年7月20日に満了しますので、第20期の委員候補者の募集について、各種団体からの推薦並びに市民公募予定を市報5月15日号に掲載いたします。予定ですが、6月3日（火）午後2時に説明会を本館で実施、また6月13日（金）午後5時に推薦と立候補者の受付締め切り、6月17日（火）午後4時に候補者と推薦者の調整会、7月8日（火）の教育委員会で同意の議案書を提出、委嘱状は7月22日（火）午前10時本館で交付する予定です。また7月25日（金）に公運審がございますので、そこでご報告をするようにいたしたいと思っております。

大橋委員長 この件に関して何かご質問等ございますか。無いようですので、次に各館事業の報告についてお願いいたします。

(4) 各館事業の報告について

公民館長 各館から特色のある事業についての説明をさせていただきますが、本日、東分館の事業についての追加資料として当日配布しております。よろしくお願いたします。

松本事業係長 本館から報告をさせていただきたいと思っております。二つあります。障害者青年学級「みんなの会」そして「ITサポートセンター小金井市パソコン相談室」です。障害者青年学級「みんなの会」は年間通してかなり回数を重ねて活動をしています。昭和50年6月22日に開級以来33年の歴史がある会です。現在の学級生の人数ですが、平成19年度で51人だったところが平成20年度は58人と増えました。ボランティアの人数も増えております。学級生の平均年齢は、男性32歳女性45歳、最高齢は男性63歳、女性69歳で、最年少は男女共に18歳でした。担当者の感想にもあるのですが、学級生、ボランティア共に高齢化している点をどうするかという今後の課題も残されています。右側頁の活動経過で特筆すべきところは、8月のサマーキャンプ、これは1泊2日で緑センターにて実施しました。私も同行して、1泊してまいりました。内容としては、お昼に学級生と共に野外でカレーを作りました。職員、ボランティアと学級生が共に取り組み、一体感がありました。自分達で作ったご飯なので、学級生が大変おいしそうに食べていた点が印象的

でした。次に、3月の修学旅行、これは行き先が伊豆の熱川温泉で1泊2日。私も同行しました。バスの中、旅館に着いての宴会等学級生はとても楽しそうに1年の活動を振り返りながら盛り上がりました。ITサポートセンターですが、18年度と比較し、19年度の相談者数が増えています。ITサポートセンターによるパソコン相談室は、インターネットやパソコンに関して不明な点について予約なしで相談できる利点があるので、現在貫井南分館、本館、緑分館の3館で実施していたところ、平成20年度は更に本町分館に、平成21年度には東分館にも開設していくことを考えています。以上です。

渡辺主査

貫井南分館では「江戸野菜をつくろう」と「文学散歩 日銀大金庫、貨幣博物館と一葉記念館を訪ねて」の2件についてです。「江戸野菜をつくろう」については「小金井を江戸野菜で元気に」という座学から始まりました。そして、その実践講座として、東京学芸大学環境施設農場において野菜を作るというものです。東京江戸野菜ということで、亀戸大根、小松菜、野良ぼう、練馬大根等、東京でもともと作られていた野菜を中心にやりたいということで始めています。品種改良やある種の野菜については種も少なく手に入らないこともあり、必ずしも江戸野菜に限らないものも含まれるのですが、小金井を農業でなんとか元気にしたいという気持ちを前面に出して活動したグループです。参加者が20人くらいで、4月から翌年3月までの約1年間続けている講座なのですが、欠席者が少なく、参加者が8割を超えるという、野菜や環境に対する関心の高い、熱心な方が多いグループです。学芸大学の先生の紹介で小菅村の方を訪ね、五穀、昔の穀物ですね、その勉強をさせていただいたり、食物について皆さんで勉強しています。文学散歩についてですが、こちらは今まで公民館にあまり参加していない方を多く呼び込むことを目的にいたしました。この考え方としてはこの間も日銀の総裁のことで問題になりましたが、その日銀の建物の中の地下にある大金庫の見学と貨幣博物館と樋口一葉の記念館の見学をしてきました。以上です。

長堀主査

東分館は国際交流イベント「ドイツ人から見た現在のドイツの社会、政治、文化」についての報告をいたします。全4回、内容は資料のとおり、募集人数30名のところ受講者55名で希望者全員受け入れました。夜間の講座としては非常に盛況な講座となりました。1回2時間の講座の中で講義は1時間から1時間15分くらいで、残りの時間を質疑応答の時間にあてていただいたのですが、毎回質疑が活発に行われ、毎回最後が時間切れで、あとの方は次回にと質問を打ち切る形になり、受講者の皆さんには講義を聞くだけでなく、自分の質問にも講師が答えてくれるということで大変充実した講座だったと思います。当初この国際交流イベントについては、生活全般、料理も含めたいろいろな内容を盛り込んだアラカルトのような

企画をしていたのですが、講師が国際政治学者であり、講師との打ち合わせの中で、専門である政治学の内容に変更し、ドイツの政治、社会、文化に絞り込んだ講義を中心に焦点をはっきりさせ、更に専門化したために、多くの受講者の皆さんの関心と呼ぶことができたのではないかと思います。講師は今回公民館での講義は初めてであり、毎回映像も講座用に作ってきてくださり、大学では通常は英語かドイツ語で講義をされていたので、日本語での講義は初めてだったのですが、誤変換に教室の雰囲気や和んだり、講師の熱意も伝わり、大変充実感のある講座でした。

(5) 市制施行50周年記念事業について

大橋委員長           これで報告は終わりですが、何か質問ございますか。無いようですので、次の5番目「市制施行50周年記念事業について」です。

公民館長             事業係長から進捗状況をご報告いたします。

松本事業係長        去る4月12日(土)に第1回プロジェクトチームの会議ということで、応募して、来ていただいた方は2名。1名は男性で東京学芸大学3年生ともう1名は女性で中央大学附属高校3年生でした。応募されたきっかけは学校のポスターを見てきたということですが、学芸大学生については、学校ではけの道について勉強したので関心を持っていること、中央大学附属高校の学生は動物保護に関心を持っているので、その関係で仲間づくりができるのではと考えられたとのことでした。田頭副委員長、内古閑委員にも同席していただきました。ありがとうございました。もとをただすと、集まってくれた学生を中心に最終的には「新感覚の未来像、私達の提言」というテーマでシンポジウムを開催していこうというのがこの50周年記念事業の趣旨だったのですが、2名であり、まだメンバーが不足している状態です。公民館にもスタッフがあり、6回会議を重ねているのですが、まだ参加メンバーが集まらず苦慮しているところです。君塚委員にもご尽力いただいと考えるのはいいのですが、今後どうやっていくかという話にはいたらなくて、苦慮しているのが現状です。これからまたスタッフメンバーを集めるために、個別にあたり、組織的にあたり、とりあえずスタッフを集めなくてはならないので、公運審の先生方にもご尽力いただきたいと思っています。以上です。

大橋委員長           出席された田頭委員、内古閑委員何かございますか。

内古閑委員           少し遅れて行ったので私は席がないかしらと心配して伺ったところ、2名の参加だったのでびっくりいたしました。でも後で伺った田頭委員のお話では、1名でも参加があれば上等よとのことだったので、来た方が次の会に1人2人連れてきてくださってというような形で集まっていく会なのかなという感じがしました。やはり係の方がその方達から意見を出してもらうのにとっても苦勞なさっている感じがありまして、いろいろな話をしながらまとめていくという会議の仕方を逆に勉強させていただきました。

田頭副委員長	私は逆に今日は誰も集まらなくてももう帰ろうとしているのではと行ったら、2名もいらしたのでああ良かったと思ったのです。なかなかこういうちらしだけで顔が見えていないところに若い方が来るということは本当に難しいことだと思うのですが、それでも2人とも学校に貼ってあったちらしを見て来ましたとのことでしたので、ちらしの力は強かったんですね。何かをやりたいとか仲間を見つけたいと思っている若い人はやはりいるのだなということが改めて分かりました。こういう人が来たということが分かると、声をかけようかという働きかけもできるので、ぜひ声をかけていきたいと思っています。若い方対象の企画は担当の方がご苦労されると思うのですが、それをあえて企画されたことは意義のある事だと思います。何か少しでもお役にたてることがあればお力になりたいと思います。
大橋委員長 公民館長	どうもありがとうございます。 ありがとうございました。特にこのようなフレッシュな新しい企画については、大変な努力もしていかなければならないのですが、盛況になって、シンポジウムが実現するよう、ひとつ皆様ご協力のほどよろしくお願ひしたいと思います。
松本事業係長	次回のスタッフ会議の予定ですが、5月24日（土）午後2時から本館の資料室です。以上です。
大橋委員長 松本事業係長	テーマ等はそこで決めていくわけですか。 集まっていたスタッフの中で決めていきたいので、なにしろ人数をもう少し集めないとはじまらないという段階です。
田頭副委員長	はげに興味をもっている学芸大学の学生がいらっしゃいますが、例えばはげに関しては小金井にもいろいろ環境系の市民団体や活動している方達がいるので、その学生の方にお知らせ等を個人的にお渡ししたり、連絡だけはすることで、お互いに知り合うきっかけになったり、逆に団体からも周辺の若い方に声をかけていただいたり、ということにつながっていくと思いますが、いかがでしょうか。動物愛護に関する団体はちょっと具体的には思い浮かばないのですが、環境に関してはたくさんありそうです。
君塚委員	先ほど私の名前が出てきたようなのでお伺ひしたいのですが。これは最終的にはシンポジウムを開催することが目的なのですか。
松本事業係長	はい。
君塚委員	それはいつですか。
松本事業係長	10月を予定しています。小金井市の市制施行50周年が10月なので10月頃の開催を目指しています。
君塚委員	情報宣伝の仕方の問題です。今までもいろいろあったと思うのですが、このチラシだけだったのですか。それとも他に例えば市報とか、月刊こうみんかんとか。
松本事業係長	市報にも月刊こうみんかんにも掲載しましたし、広報掲示板でも掲示し、後は個別に学校にも行きまして、市内の大学や生協にもち

らしを置いてもらい、手を尽くしているのですが、なかなか学生も、学業と生活の方で忙しいということを学校の関係者からも聞いており、なかなかこちらから募集をかけただけでは集まってくれないようです。ですので、大学の先生に個別にあたってみようと思っています。

君塚委員

学芸大学ではどこの部署に行かれましたか。

渡辺社会教育主事

社会連携室、学生サービス課、生協、自治会に行きました。

君塚委員

貫井南分館でなされた講座はうちの大学の環境教育実践施設の先生がされた企画だと思うのですが、こちらの方にはアタックされたのでしょうか。

渡辺社会教育主事

そちらにはまわりませんでした。

君塚委員

たぶん先ほど回られたところだと、学生には情報が十分に浸透していないと思います。実際的に活動を実施している団体、組織やゼミなどに当たられた方がよいと思います。この前いただいたチラシも生涯学習の専門家が私の教室に2人いるのでそのゼミにも回したのですが、あまりにも期間が短かったものですから行けないと。私の方でも今回の件を投げかけてみますが、今回の日程も5月24日です。その辺のところをもう少し戦略的に宣伝した方がよろしいのではないのでしょうか。いくつか事例を提示していただけると、このチラシ以外にもう一步踏み込んだ内容を提示していただけるとだいぶ学生の食いつき方が違ってきますので。たぶん教員に投げかけられてもできる範囲が限られていますので。もう始まっています。そのへんのところを工夫していただけるといいのかなと思います。

松本事業係長

ありがとうございます。

公民館長

学生に直接アプローチした方がよろしいということですか。

君塚委員

アプローチの仕方の問題ですね。チラシにしてもこれだと参加しにくいと思います。

大橋委員長

学生向けのアピールは学生に作らせた方がいいですよ。我々が作るより。月刊こうみんかんや市報は学生はまず見ないと思います。

君塚委員

例えば先ほどのうちの学生ですが、環境教育を専門とする学生ですか。

渡辺社会教育主事

専門は環境教育ではないですね。物理ですから

君塚委員

理科の学生なのですかね。いくつかポイントを示していただけると学生は食いつきが違いますので。地域に根ざした問題を提示していただくと学生もだいぶイメージがわくと思います。口コミで広がっていくと思いますので、やれる学生がおそらく手をあげると思います。

(6) その他

ア 第13回東京国際スリーデーマーチについて

公民館長

君塚委員から有意義なご意見をいただきましたので、早速調整をしたいと思います。

大橋委員長	どうもありがとうございました。この事業について他にありませんか。なければその他二つ続けていきます。
公民館長	第13回東京スリーデーマーチについてです。皆様のお手元にちらしを配付してございます。都立小金井公園いこいの広場にて、内外の多くのウォーカーを集めまして、社団法人日本ウォーキング協会の主催、小金井市教育委員会、朝日新聞日刊スポーツ社など5月3日(土)から5日(月)にかけて開催されます。ルートは、文学散策から10km、20km、40km、フリーコースは当日受付もしておりますので、皆様参加していただければと思います。公民館では緑分館が関係者の宿泊施設として利用されることになっております。また、私も3日(土)に終日従事することとなっております。
大橋委員長	この件について何かありますか。
大橋委員長	申し込み手続きが大変面倒ですね。主催が小金井市となっておりますが。
公民館長	小金井市も主催欄に併記されてはいますが、ウォーキング協会がメインになっています。
大橋委員長	次お願いします。
イ 第1回企画委員会の結果について	
公民館長	第1回企画委員会の結果です。本年12月14日(日)公民館研究大会が町田で開催されます。その第1回の企画委員会が4月17日(木)午後2時から4時にかけて町田市中央公民館で開催されました。公運審から大橋委員長、職員は、松本係長、渡辺社会教育主事が出席いたしました。委員長からご感想がございましたらお願いします。
大橋委員長	ひとは、町田はすごく遠いんですね。出席するのは大変かなあとあります。公民館研究大会も皆さんがあそこまで出かけて行くからには魅力のあるものにしないと大変だと思います。それからテーマですね。まだ決まってないのですが、町田市の公民館から提案されたのが「市民が作る公民館」です。分かりやすく、一つの主張がありますね、市民参加でやりましょうという。大変良いテーマだと思います。それについてですね、議論がありまして、「市民と共に作る公民館」というふうにした方が良いという意見もありましたけれども、そうすると主体が職員として出てくることを感じるの、やはり「市民が作る公民館」という提案されているものの方が良いと思います。どちらかという今までは非常におおづかみで、具体性がないテーマだったので、今回は非常に分かりやすくよいと思います。それで座長に渡辺さんが選ばれました。満場一致でした。大変いい司会進行で、スムーズに進行しました。
松本事業係長	私も公民館職員として今年でようやく1年経ちましたが、いまだに公民館とは、公民館職員とはについて論ずることは難しいですが、この場に出席しました。他市にも1年目、2年目の職員もいらして、

テーマ別の意見も出され、皆さんビジョンを持って仕事に取り組んでいる様子にはっとしました。次回までに各自でテーマを検討してくるという宿題をもらって来ましたが、頑張らなくてはと感じたところです。以上です。

公民館長

町田市の館長ともいろいろ話をしていますが、従来のように全体会を設けて、その後で課題別集会というのではなく、自分の施設で受け入れられる範囲内という対応で、全体会はなくす方向で、課題別集会の後でまとめて行う方法をとるのか、今後どの自治体が当番市になっても対応できるような方法で行うのかは役員会の方でもたぶん了解されていることで、そのような方向で検討しているのだと思います。

大橋委員長

そうですね。この間の提案にあったのは、全体会はやらないということ。午前10時頃から課題別の分科会を午前中及び午後3時頃まで行って、最後に全体の協議会ですか、名前は何でしたか。座長。

渡辺社会教育主事

報告会です。

大橋委員長

全体のまとめですね。これはまだ決まったわけではないのですが、「市民の作る公民館」という大きなテーマがあり、各課題別集会が6つありますね。それらを最後の1時間を1箇所に集まってまとめる。といっても会場はそれほど大きな会場が用意してありませんので、興味がある人はそこに集まって全体をまとめ、一つの方向性を出すということで、そういう意味では新しい、今までにないやり方をするということです。

渡辺社会教育主事

次回には課題別集会のテーマを具体的に出していただくので、もしこの場でも、(仮)「市民が作る公民館」という全体のテーマに向けて、いくつかの切り口があると思うのですが、是非こんなことをやってみたらよいのではというご意見があればお聞かせいただければ次回の参考になりますので。今でなくても結構ですが、私の方にも、委員長の方にもお聞かせください。

公民館長

第47回東京都公民館研究大会は小金井市が大会事務局市となりますので、その辺も踏まえて成功していくように、よろしく願いいたします。

大橋委員長

それではその他で次回日程についてです。

ウ 次回日程について

公民館長

次回の日程は5月23日(金)午後3時から、こちらの公民館本館学習室A・Bです。

## 2 審議事項

### (1) 各館事業の計画について

大橋委員長

それでは、各館事業についてです。

公民館長

すでに一覧表をご送付してありますが、追加分を当日分として配付いたしました。本年度が最終になりますが、ハローフレンズ教室

松本事業係長	<p>についてです。</p> <p>本館の「市民が作る自主講座」企画募集についてですが、市報5月15日号に募集記事を掲載、募集要項の配布は5月15日から7月16日までになります。実際の企画の受付は6月16日から7月16日となります。昨年出てきた企画件数は10本でした。応募した団体全部に予算を配分する方法をとったのですが、今年度は、応募した団体が希望した回数分全部あげられるようにしたいと私の方では考えておまして、小金井市公民館市民が作る自主講座取り扱い要領第6条「公民館長は公運審の意見を聴き、実施の承認、不承認を決定する。」の条文によりまして、時期がきましたら、公運審の委員の方々にとどの講座を選択するかをお諮りしたいと思っておりますので、よろしく願いいたします。7月の公運審の際にお諮りしたいと思っています。以上です。</p>
大橋委員長	<p>ここに書いてある実施日6月16日から7月16日というのは応募期間ですか。</p>
松本事業係長	<p>企画の募集期間になります。</p>
大橋委員長	<p>ということは、審査はそれ以降ということになりますか。</p>
松本事業係長	<p>それ以降になります。7月の公運審の時にお諮りしたいと考えております。</p>
田頭副委員長	<p>意見を広く聴いていただくのはありがたいことなのですが、応募された企画の内容によってすごく変わってくる気がします。募集枠の倍以上集まってくることもあるでしょうし、枠に収まるくらいの場合もあるでしょうし、同様な企画ばかりの場合や、多岐にわたる場合など様々だと思えます。選定していく基準は、今一律で決めなくても様子を見てからでよい気がします、いかがでしょうか。企画する側から見ると希望回数全部を認めてもらうのが一番ありがたいとは思いますが、もしかして回数を減らして実施していただくことが妥当な場合もあるでしょうし、毎年同じ企画を持ち込む団体には今年度はご遠慮いただく場合もあるでしょうし、やはり全体を見ないとなかなか私どもも判断しづらい部分もあると思うのですが、いかがでしょうか。</p>
松本事業係長	<p>ありがとうございます。そのように対処したいと思えます。一応募募集要項には、同様の企画が出てきた場合にはご遠慮いただくという一文があるのですが、なかなか出てきた企画に対してそのようなことは言いづらかったところもあったものですから、副委員長のご意見もふくめて対応してまいりたいと思えます。以上です。</p>
竹内委員	<p>そのやり方は良いと思うのですが、公民館では初めてのやり方ですよね。今までは大体事務局ベースで決めていましたよね。</p>
公民館長	<p>はい。</p>
竹内委員	<p>これに似たようなことは他でもやっていますが、このようなものがあるので一定のお金が出るから皆さん申し込んでくださいという、たくさん応募してきますよね。その審査をするのはなかなか難</p>

	<p>しいのです。審査をする時の考え方、共通の着目点、一つの目安になるものを示していただくことは可能なのでしょうか。何もなしにフリーに議論をすると、思いつきと言うか感覚で選択をせざるを得ないという気がします。</p>
田頭委員	<p>団体の方達のプレゼンテーションはないのですよね。本当はそこまでやれば一番よいような気がするのですが。</p>
竹内委員	<p>初めての新しいアイデアですから、最初から100点満点を狙ってしまうと後ろに下がってしまっはいけないと思いますので。背中を押したいと思いますので。そのような意見があったことを参考にさせていただければと思います。</p>
松本事業係長	<p>ありがとうございます。</p>
田頭副委員長	<p>何か資料があればたぶんかなり違うと思います。その1回の審査会だけで全て決めるのですか。</p>
松本事業係長	<p>実際に事務的には7月16日に締切りまして、早く決めていかないと、講座を開催する時期が遅れてきてしまうので。</p>
竹内委員	<p>公運審で諮って決めましたと言えば事務局は説明しやすいと思いますが、選考される側はどうなのでしょう。その日は申請した団体が傍聴してもよいわけですよね。そうすれば決める過程が分かるから、採用されるにせよ、されないにせよ理解がしやすいと思います。せっかく申請したのに経過が分からないから来年からはもう申請しないと落ち込んでしまっは気の毒ですから。もし1回で決めるのでしたら、事前に資料を配っていただいて、申請した団体も傍聴が可能であることにしていただいたらよろしいのではないのでしょうか。</p>
田頭副委員長	<p>その審査は公運審も加わるということも、その日程が25日であることも予め全部オープンにしておいたらいかがでしょうか。</p>
君塚委員	<p>審査をすることになるのですね。</p>
田頭副委員長	<p>そのようです。</p>
君塚委員	<p>そうすると、かなり慎重に考えていかないと。権限を行使することになりますので。どういう資料が出てくるのですか。あるいは今まで落とされた団体というのはあるのですか。</p>
松本事業係長	<p>今まではないです。</p>
渡辺社会教育主事	<p>あります。</p>
君塚委員	<p>どういう理由で落選したのですか。</p>
公民館長	<p>ただし、申請された団体にはご了解を得てということですが。いろいろなケースがあります。本来ですと、同一の団体から、昨年と同様な内容でということは除外されるのですが、全体の出ている件数から勘案して、これについては主催事業でやりましようかと振り替えてやる等内部で調整して対応しているのが現状です。応募した団体の熱意が極力活かされる方法でやって行き、それがかなわない場合はご理解をいただく方向でこれまでやってきています。そのために職員の方もかなり大変な作業です。本来ですと今のように審査を</p>

	<p>するという事になると、基準表やランク付けなど細かく精密にやりませんとなかなか難しいところがあります。</p>
君塚委員	<p>あまり精密にしすぎると今度は応募しにくくなる等の問題も生じますので。ただ一定の指針と情報の透明化は応募する市民にとっても、この事業全体を活性化するにしても非常に重要なことですので、そこらあたりのことはきちんと合意形成だけはしておいた方がよいと思うのですが。どのような情報を出していただけるのかも含めて、この場で議論した方がよいと思います。</p>
田頭副委員長	<p>なんとなく不安が残るのは、公運審で決めていいのかということがあるような気がします。意見として聴いていただくのはありがたいのですが、やはり職員の方が公民館各館の講座、事業の流れはつかんでおられるでしょうし、その中での位置づけもありますでしょうし、今まで重ねて応募してらっしゃる団体の応募状況もご存知なわけで、そういったことを知らない私達が決めていいのかなということもありますし、審査を私たちがすることが適当なのか分かりません。</p>
大橋委員長	<p>基本的には公民館長が決めるのですよね。そこに公運審に加わって欲しいということですよ。提案なのですが、細かく審査するようなことは時間的な条件の中では不可能ですので、事務局でまとめていただいて、これでいいかどうかを諮問する形にさせていただくというのはどうですか。それで、難しい場合は皆さんの意見を聴き決めてもらうという形では。公運審の審議会の時間自体が1時間半しかありませんので、事務局でまとめた案を諮る形をお願いしたいと思います。応募状況もどうなるか分かりませんので、なかなか議論しにくいとは思いますが。</p>
公民館長	<p>その方向で行ってみたいと思います。諮問することで事業担当者が抱えるプレッシャーは軽減できる事も事実です。申請を受け付ける際に提案やご意見を聴いていくことで、職員は、その希望に沿う形にしたいあまりにプレッシャーをかなり感じておりました。そういった点も踏まえてご意見をいただいてという形にさせていただきたいと思います。限られた時間でございますので。ありがとうございました。</p>
	<p>(2) 公民館の基本方針づくりについて</p>
大橋委員長	<p>それでは「基本方針づくり」についての議論に入りたいと思います。4月15日に企画実行委員に説明いたしました。本来は公運審からも出席していただく会合だったのですが、出席は私と田頭副委員長、内古閑委員の3名の出席でした。それについては館長の方から報告をお願いします。</p>
公民館長	<p>4月15日(火)午後3時30分から午後5時10分まで緑センターにて、第2回三者による基本方針づくりの検討をいたしました。大橋委員長から案文の説明をしていただき、質疑応答。質問が多数ございましたので、各館で取りまとめて本館へ5月16日まで</p>

に質問などを提出してもらい、次回の公運審 5 月 23 日に検討していくという形で当日は終わりました。三者による会合は別途次回日程を設定していければと思っております。

大橋委員長

この前の私からの説明の後の皆さんの意見は、新しい項目というのではないですね。文言の細かいところですね。削ってしまった方がよいところは削る。大枠は皆さんこれでいいということですが、5 月 16 日に集約して、次回の公運審で議論をしたいと思います。まだ時間が少しありますので、皆さんのご意見を。それから毎回私が企画実行委員から責められるのです。その話題で皆さんの議論が盛り上がってしまうくらい公運審委員の参加の少なさをいつも指摘されています。お忙しいこととは思いますが、2 時間くらいの時間ですので、出来る限りご出席をお願いいたします。

公民館長

私もその場にいろいろなご意見をうかがっております。特にこの基本方針を三者でと呼びかけた公民館運営審議会委員の出席が少ないというのは、市民感情的にみても非常に好ましく感じました。またこれは出席している者が等しく感じているところではないかとも思いますので、その点を踏まえまして、よろしくご理解、ご協力願えればと思います。

大橋委員長

三者の間の意思疎通を図るという目的が書いてあるのに出席されないとも言われますので、今回は会合がありましたら万障繰り合わせてご出席いただきたいと思っております。

田頭委員

その件で、やはりまだわだかまりがあるのだと感じました。「三者が役割を果たしながら」の部分から、企画実行委員の役割は、公民館運営審議会委員の役割はどう考えていますかという質問がออกมาして、館長がおっしゃったような「呼びかけておきながら参加が少ないではないか。」との指摘がありました。企画実行委員は、当日連絡会があったのでそれに合わせて日程を設定したこともあり、実際に企画実行委員の方の参加がとても多かったのです。運審委員は残念ながら出られない、出席したくても来られない状況もある等の説明もしたのですが、顔をあわせる機会が少ないとわだかまりがなかなかほどけにくいことがあるのだなあと感じました。前期 28 期のときにはよく時間を作って努力して運審のメンバーが企画実行委員の会議にも参加したのですが、第 2 火曜の実行委員会などに意識的に参加させていただいたりという機会を重ねていたり、5 月 20 日の企画実行委員連絡会には時間を作って参加するようにしたり、といっても私自身がこの日程には東京には不在なので今回は参加出来ないのですが。フォーマルな場だけでなく、その後の立ち話でも個人的にコミュニケーションをとったりできるようにしていくと良いのかと思いました。企画実行委員の側からは公運審の役割が見えにくいのだなということは感じました。私自身もそうでしたが。後は会議の持ち方ですね。運営のしかたが前に立ってご意見を聞く形では関係が硬直化していくような印象がありまし

た。三者の研修会で谷口さんのときのようなワークショップ形式でテーブルを囲んでの場では和気藹々とした良い雰囲気だったので。共通のテーマもありましたし、何かを一緒に作る、一緒に作業をするようなことを取り入れていくと、もう少しフランクに意見が出し合えるかもしれませんということ为先ほど委員長とも話したところです。次回、企画実行委員の会議の意見を公運審でまとめて整理して、またさらに公運審案として企画実行委員に提案して、また三者で話し合いを持つことになると思いますが、日程の決め方ですとか形式は工夫のしどころがあるかなと思います。次回の集まりは公運審委員のメンバーの都合のよい日程で決めてもよいのではないのでしょうか。今回は企画実行委員の方の集まりやすい日程で設定しましたので、公運審委員も参加するよう努力しているのだという形は示したいと思います。せっかく皆さん思いはあるわけですから。

公民館長

ありがとうございます。公民館運営審議会の構成メンバーは市民参加3人以外の7人は、団体、機関からの推薦の委員で、本務があるわけなのです。本務があつてということもご理解をお願いしたい旨はご説明しておりますが、公民館運営審議会でもできるだけ金曜日が出席しやすいということがありますので、日程に考慮していきたいと思います。

大橋委員長

例えば金曜日の公運審の会議の終了後に設定するのではいかがでしょうか。

公民館長

公運審の会議は3時から開始で終了が5時頃になってしまうので、公運審の会議の前に設定するのでしたら可能ではないかと思いますが。

大橋委員長

公運審の会議を4時半に終了して、6時まで会合して、その後に懇親会などは…。冗談です。そのような長時間にわたる計画も考えられるのですが…。

君塚委員

本務がありますので、どうしても火曜日は授業と重なってしまうので、館長がおっしゃってくださったように、なるべく参加出来る日程をすり合わせて事前に調整したうえでお願いしたいと思います。

大橋委員長

日程については、私達が先に決めてから行うという方法もありますね。

君塚委員

今のようなご意見がでてきているということは、出席が義務のような仕事ということですね。

大橋委員長

毎回私がひとりで、大変な思いをしているのです。言われても平気ですけども。

内古閑委員

私には公運審委員と企画実行委員の間に何かがあるのではないかと思えるくらいの議論だったのです。最初からその話がでたのは、会議が進まないと思うくらいの印象でした。館長が最初に説明していらっしゃるにもかかわらず、そこを指摘するのかと思えるく

	<p>らいでした。先ほどの審査で講座を選択するにあたって、ここで審査をしてしまうとまた、「居丈高に」と非難されかねない懸念もあるので、とても慎重にさせていただかないと。それとやはり日程もこちらが多く出席できる日程を設定させていただきたいです。こちらが提案しているのですから。全員の企画実行委員の方が同意見だとは思わないのですが、そういうことを考慮していただきたい。</p>
君塚委員	<p>そんな雰囲気なのですか。</p>
大橋委員長	<p>顔を会わせれば済むことだと思うのです。顔をあわせないでご自身の心のうちだけを話している様子なのです。</p>
内古閑委員	<p>一人一人はお話をすれば良い方達だと思うのです。ただその意見が出たときにその意見だけがとても強く主張されてしまい、先日も会議がすすまなかったのです。先日も結局各館でまとめて提出をで終わってしまったわけで、せつかく時間を作って参加した機会が生かされなかった気がします。</p>
公民館長	<p>ここは社会教育の場ですので、相手の立場をお互いに思いやって話し合いを成立させていくという関係をととても大切にしていきたいと思っております。市民の方々の様々なご感情、ご意見等が現在のような実情であったことを皆さんの方にもご理解いただいた上で今後すすめていきたいと思えます。よろしく願いいたします。</p>
君塚委員	<p>次回はいつですか。</p>
公民館長	<p>次回はとりあえず、5月16日意見集約、5月23日公運審の予定なので、そこで次回日程を決めていきたいと思っております。質問がどれだけ提出されるかもまだ分かりませんので。</p>
田頭副委員長	<p>基本的に金曜日と考えておいてよろしいですか。日程を調整するようにいたしますので。</p>
公民館長	<p>そうですね。そのように設定したいと思えます。</p>
(3) その他	
大橋委員長	<p>その他で何かございますか。</p>
公民館長	<p>公民館事業の計画で、貫井南分館事業で成人学校「江戸野菜に親しもう」については、昨年度の事業報告では成人大学事業でしたが、位置づけを変更した旨報告いたします。なお、本町分館まつりが5月17日(土)、24日(土)、25日(日)、貫井南センターまつりが5月16日(金)から18日(日)にかけてとありますが、ちなみに緑センターまつりは5月31日(土)6月1日(日)、本館福社会館まつりは6月7日(土)、8日(日)、東センターまつりは7月4日(金)から6日(日)までとなっていますことを補足させていただきます。以上でございます。</p>
大橋委員長	<p>その他はございませんでしょうか。ないようでしたら、本日の公民館運営審議会を終了させていただきます。ありがとうございました。</p>

